

2021 年度 桐朋学園大学音楽学部音楽学科 対面入試
音楽学専攻 入学試験問題〔作文〕

下の文章を読んで設問に答えなさい。

実験的な音楽創造とは、従来は「非音楽」だとされていたものを「音楽」に参入させることに他ならない。ミュージック・コンクレートも、ガラクタのような雑音によって音楽を組織する試みだった。

驚くべきことに、コンクレートの主導者シェフェールは、晩年のインタビュー（1987）において「40年もかかって出た結論はといえば、ドレミの外ではなにもできないということ」「音響構造でしかないものを音楽と呼んではなるまい」と述懐している。なんというちゃぶ台返し。「やはり王様は裸だった」と溜飲を下げる人もすくなくないだろう。

しかし、筆者にとって、これはどこか爽快な発言だった。ちなみに筆者はシェフェールの作品は——創り手がどういおうと——十分に音楽的だと思っている。

たとえば最晩年のケージが「4分 33 秒」など音楽ではない」と密かに書き残していたら、どうなるのだろうか。場合によっては、それこそが最高のアートなのかもしれないと思ったりもするのだが。

注 ミュージック・コンクレート 「具体音楽」といい、日常の音や自然音を素材に、それを加工して作品として組み立てた音楽のこと

問1 下線部でなぜ「筆者」は爽快と思ったのか考えるとことを述べなさい。

問2 音楽と非音楽の相違について考えるところを述べなさい。